

総合計画審議会 質疑対応表（答申案用）

資料4

| 答申への反映 | 整理番号 | 施策体系 | | | (A)審議会の質問・意見 | (B)市の回答・対応 |
|---------|------|----------|----------------|------|---|---|
| | | 該当箇所又は政策 | 施策 | 基本事業 | | |
| 1-① | 1 | 前期計画 | | | [KPI]達成率が低い指標に対して今後重点的に取り組んでいくべきである。達成できなかった理由を分析し、次期計画の策定に生かす必要がある。 | 次期計画を作るに当たっての作業部会で、KPIの達成状況や市民意識調査等で出た課題などを参考にしていきます。 |
| | 2 | 前期計画 | | | [KPI]政策2の中で、成果指標「生活環境が向上していると感じる市民の割合」の達成率が他の指標と比較して低い。指標と市民の感覚にずれがあるのではと思う。 | この指標は、市民意識調査の「2,3年前と比べた身近な生活環境についてどのように感じますか」という設問で、「良くなってきている」「やや良くなってきている」と回答した割合になっています。しかし施策2-1は前期計画から一貫して環境の「保全」、いわゆる「維持」を目指すこととしているため、後期計画ではKPIを「生活環境の向上」から「維持(保全)」されていると感じる市民の割合」に変更します。その場合、現状値は「変わりが無い」と答えた人も加えて77%となり、目標値は5年で10%上昇の87%とします。 |
| | 3 | 全体 | | | 全体構成については分かりやすい。SDGsのアイコンを入れたのも、趣旨(序論)に合致したよい工夫と思う。 | ご意見としていただきます。 |
| 1-② | 4 | 市民意識調査 | | | 市民意識調査の回答者の居住地域に偏りがある。居住地域に配慮した調査を行ったのか。 | 各居住地域の人口割合に応じて調査を行っています。 |
| | 5 | ワークショップ | | | ワークショップに参加して、総合計画への関心度が格段に上がっている。このような機会をこれからも作ってほしい。 | ご意見として、参考にさせていただきます。 |
| | 6 | 全体 | | | [みんなができること]学校の教育現場でできることがたくさんある(環境、観光等)ので、政策4以外でも[みんなができること]などに盛り込んでほしい。 | 全体的にチェックをして、盛り込めないか検討したい。 |
| 1-③ | 7 | 全体 | | | 霧島市においては人手不足の感が多いにある。地元の高卒、大学卒の人たちにできるだけ地元に残っていただくよう、さらに努力する必要があると思われる。 | ご意見として、参考にさせていただきます。 |
| | 8 | 序論 | 5本市を取り巻く社会環境の変 | | [5本市を取り巻く社会環境の変化]空き家・空き地の増加による地域の空洞化や、食料自給率の低下の進行、第1次産業の衰退といった変化は、ますます進行していることを懸念している。したがって、政策だけでなく序論にも本市の重要な課題として踏まえるべき大きな社会環境の変化として明記してもよいのではないか。(「②人口減少・少子高齢化の進行」の中になるでしょうか) | ご指摘のとおり、1つ目の●の2行目の「コミュニティの縮小」の後に「、空き家等の増加による地域の空洞化など」を加えます。 |
| 2-(1)-① | 9 | | 1 | 2 | [基本事業]企業誘致と雇用促進については、積極的に進めるべきであるが、土地開発について市の許可があまりにも遅い。 | 土地利用協議の承認については、関係部署との協議や意見聴取等を慎重に行う必要があることから、協議書の受理から3週間ほどの期間を設けていますので、ご理解ください。 |
| | 10 | 前期計画 | | | [KPI]政策1関係で、始良・伊佐地域振興局の会議で県内に就職した若者の離職率が非常に高いというデータがある。就職しても辞めてしまっは意味がないので、霧島市の若者の離職率を指標の一つとしてはどうか。 | 労働局の離職率のデータは鹿児島県全体のものであり、霧島市だけのデータは公表されていないため、KPI設定は困難と考えます。 |

総合計画審議会 質疑対応表（答申案用）

資料4

| 答申への反映 | 整理番号 | 施策体系 | | | (A)審議会の質問・意見 | (B)市の回答・対応 |
|---------|------|----------|----|------|--|---|
| | | 該当箇所又は政策 | 施策 | 基本事業 | | |
| 2-(1)-② | 11 | 1 | 1 | 4 | [基本事業] ブラック企業が問題となる中で、働きやすい労働環境づくりを支援することも施策として必要と思うが、それはどこで扱われることになるのか。施策1-1の地域事業所・団体でできることに「ワークライフバランスが図られた働きやすい職場環境作りを推進しましょう」とあるが、施策に「戦略」としても位置づける必要があると思う。 | 1つ目の・の最後を「多様な働き方、ワーク・ライフ・バランスの啓発に努めます。」と修正します。 |
| | 12 | 1 | 1 | 4 | [基本事業] 今年10月に労働者協同組合法が制定されることになったように、ひとり一人が尊重された多様な働き方が求められている。そうした新しい働き方支援のための戦略が必要ではないか。 | 基本事業及び施策の目指す姿の文言に、「多様な働き方」という言葉を追記します。 |
| | 13 | 1 | 1 | 4 | [施策で目指す姿] 「教育機関との連携」とはどこを想定か。中学校ではしごと維新などキャリア教育を推進しているので、[みんなのできること]に中学校等を加えたらどうか。 | 教育機関としては小学・中学・高校・大学などになります。しごと維新については中学生が対象ですが、その取組は市として行っているの「みんなができること」については記載しません。 |
| | 14 | 1 | 1 | 4 | [KPI] 「高校卒業時の市内就職率」は、高校に限る理由は何か。進学率も高いので大学なども含めてもいいように思う。 | 地元の学生が地元で就職する割合、いわゆる「地元就職率」という観点での指標としていましたが、ご指摘の通り、総合戦略3-3のKPIに追加します。 |
| | 15 | 3 | 2 | 1 | [基本事業] 「育休の普及」を明記できないか。事業所任せでは、進まないように思う。 | 施策1-1基本事業④「魅力的な就業環境と担い手の確保」において、ワーク・ライフ・バランスの推進の一つとして、育児・介護休業制度等の関係法令や諸制度の普及を行っており、施策1-1に「ワーク・ライフ・バランス」の言葉を加えます。 |
| | 16 | 4 | 1 | 1 | [みんなのできること] 市民一人一人にできることに、「職場体験や合同企業見学などに参加し、市内企業に関心を持つ」ことが挙げられないか。 | ご指摘のとおり加えます。 |
| 2-(1)-③ | 17 | 1 | 2 | 全体 | [基本事業] 農業基本法が1, 2年で見直され、食料の安全保障、事業形態が大きく変わる可能性がある。従来形ではなく、5年先の動きも織り込んでおいたほうが、今後やりやすいのでは。 | 短い期間で農林水産業を取り巻く環境が大きく変わる可能性があるからこそ、ご意見にある5年後の動きを予測することが難しいため、このままの内容としたい。 |
| | 18 | 1 | 2 | 1 | [KPI] 新規就農者を10人にしても、それ以上に離農者が多いので補えないのでは。移住者の新規就農は初期投資が大きく大変なので、地縁者が既存農家を引き継ぐような後継者育成なども大切ではないか。 | ご意見にあるとおり、家族や親戚関係での事業承継も、新規就農に至る1つの大きな要因であると考えますので、農林水産業が魅力的で安定的な業種となるよう、支援してまいります。そのための支援として、機械導入や農地集積、関係機関との連携を基本事業に記載していることから、このままの内容としたい。 |
| 2-(1)-④ | 19 | 1 | 2 | | [基本事業・KPI] 農林水産業においては、生産された品物をできるだけ利益のあるように販売する、そして所得が分かるようにするべきだと思うが。 | 「所得」の単語を含む指標はいくつかありますが、ご意見にあるような「所得」を示す適当な指標が無いことから、このままとしたい。「市町村民所得推計」…市町村内産出額から中間投入や補助金等の経費を加除したもの。「生産農業所得推計」…農業総産出額から経費や補助金を加除したもの。 |
| | 20 | 1 | 2 | | [基本事業・KPI] ふるさと納税を50億円を目指す。(返礼品が地域を活性化する) | 返礼品のニーズや先進事例等の把握に努めながら、引き続き前年度の寄付額を超えていけるよう、努めてまいります。 |
| | 21 | 1 | 2 | | [みんなができること] 地産地消を呼び掛けるに当たり、生産者・小売業者は農家の顔や作物の魅力が伝わる、親しみが湧くような取り組み(広報)をしてはどうか。 | 「生産者・小売業者＝農林水産業者」としての「できること」で「SNS」「広く発信」などの言葉を追加します。 |

総合計画審議会 質疑対応表（答申案用）

資料4

| 答申への反映 | 整理番号 | 施策体系 | | | (A)審議会の質問・意見 | (B)市の回答・対応 |
|----------|------|----------|----|------|---|---|
| | | 該当箇所又は政策 | 施策 | 基本事業 | | |
| | 22 | 1 | 2 | | [みんなができること]地域事業所団体について、「農地、畜舎、港などの現場を紹介・公開・SNSなどでも発信し、見てもらう・知ってもらう。」などを入れてはどうか。 | 地域事業所団体の中でも、整理番号31でのご意見にある「生産者・小売業者＝農林水産業者」としての「できること」と考えますので、整理番号31の回答に包含します。 |
| 2-(1)-⑤ | 23 | 1 | 3 | 1 | [KPI]外国人宿泊客数の目標12万人は、再訪者がどの程度あるのか。分かることと施策の方向性をもっと分かりやすい。 | 再訪者数は把握していません。目標値については、コロナ禍前の実績値を基に設定しています。 |
| | 24 | 1 | 3 | 1 | [みんなのできること]KPIの外国人宿泊客数を大幅に引き上げるようだが、「みんなのできること」の「受入態勢の環境整備」はもう少し具体的に書いてよいのでは。 | 国内外からの観光客増加が目的です。また、ご指摘の箇所は、事業所等での取組に関する部分であることから、ソフト面での取組として「～宣伝活動・人材育成など受入体制の整備に努めましょう。」に変更します。 |
| 2-(1)-⑥ | 25 | 1 | 4 | | [KPI]肥薩線の通過人員は、時間帯や毎日の乗降平均値を出して、地元住民が観光客かを割り出した上で、施策やKPIを設定するのが好ましい。 | JR九州は、時間帯や毎日の乗降平均値を公表していないこと、地域住民・観光客別利用状況は、利用者への聞き取りが必要であることを踏まえ、当該KPIの設定は困難と考えます。 |
| 2-(2)-① | 26 | 2 | 2 | 全体 | [基本事業]市民・企業等が参加する植林などを推進したり、ゴミのリサイクル率を上げる取組が必要。 | 市民・企業等が参加する植林などを推進するとともに、リサイクル率向上を目指し、より一層努力してまいります。 |
| | 27 | 2 | 2 | 全体 | [基本事業]ゴミ問題は喫緊の地域課題だが、原案では住民は客体で自分事になりにくいままの施策にとどまると感じる（「行政から言われた通り分別すればそれでよい」といったような・・）。単なる「普及・啓発」でなく、自ら考えて地域のゴミ問題に向き合い、「循環型社会」づくりに参画しているという意識形成が図れるような学びの強化の必要性を感じる。そうした学習活動を施策に位置付けてほしい。位置付けるのなら、SDGsはゴール4が追加となる。 | 環境学習については「2-1自然と共生する良好な生活環境の形成」で位置づけており、ゴミ問題を含め環境全般について総合的に取り組みます。 |
| | 28 | 2 | 2 | 1 | [みんなができること]で「バザーでの不用品交換」を記載しているが、小中学校では国際的な循環型社会・SDGsの視点で学習や自分ができることに取り組んでいる。そのような点を入れてほしい。 | 【市民】「学校で学習した循環型社会やSDGsの視点を家庭でも実践してみましょ。」の一文を追加します。 |
| | 29 | 2 | 2 | 1 | [みんなのできること]ペーパーレス化などは、事業所だからこそ効果が大きいので、資源の有効活用として書き加えてはどうか。（IT化にも貢献する） | 【事業者】「事業所でのペーパーレス化などにより、資源の有効活用に取り組みましょ。」の一文を追加します。 |
| 2-(2)-② | 30 | 2 | 3 | 1 | [KPI]「都市公園内の更新及び新設した公園施設数」とあるが、アウトカムとしての公園の利用頻度や利用理由など、実態を確認できた方が良かった。 | 市民アンケート調査の住み続けたい理由の一つに公園等の充実もあります。更新（利用しやすく改修・修繕）した数が増えれば住み続けたい人も増えるという観点からKPIに設定したところです。 |
| 2-(2)-③④ | 31 | 2 | 3 | 全体 | [基本事業]市街地の渋滞対策、空き家対策をしっかりとやる必要がある。 | 今回策定する計画に基づき、事業の実施に努めてまいります。 |
| 2-(2)-⑤ | 32 | 2 | 3 | 3 | [基本事業]災害に遭いやすい場所は都市計画で逆線引きにより居住を抑制するなどすれば、よりまちづくりの安全性が増すのでは。 | 現在策定作業中の「霧島市立地適正化計画」において、災害の恐れのある地域を除外し、コンパクトシティ化を目指すための居住誘導区域を設定することで、一定程度の線引きができると考えています。 |
| | 33 | 2 | 4 | 1 | [基本事業]避難場所のリスク回避について考慮してほしい。浸水、避難できない場所が指定されている。 | 現在、避難所の用途・リスク（浸水・がけ地等）は、看板等で周知しています。 |

総合計画審議会 質疑対応表（答申案用）

資料4

| 答申への反映 | 整理番号 | 施策体系 | | | (A)審議会の質問・意見 | (B)市の回答・対応 |
|---------|------|----------|----|------|---|---|
| | | 該当箇所又は政策 | 施策 | 基本事業 | | |
| | 34 | 2 | 4 | | [KPI]防災アプリ(きり防ナビ)のダウンロード数を入れては。 | 現行のKPI[防災に対する何らかの取組を行った市民の割合]に代わり、防災アプリのダウンロード数を防災意識の向上を図る指標として設定します。目標値は年1,000件の増加を目指します。 |
| 2-(3)-① | 35 | 3 | 1 | 1 | [基本事業]「健康指導・健康教育」とあり賛同するが、さらに「食農育」を明記できないか。健康にとって安全で豊かな食農は基本である。子どもの貧困が言われ、食事がまともにとれない子ども達や家庭があるとも聞く。他の政策である農業振興や伝統食を伝えることにも関わる大切なことだと考える。 | ご意見のとおり、健康相談・健康教育・市民健康講座に「食農教育」として追加・併記します。また、注釈を付けます。 |
| 2-(3)-② | 36 | 3 | 1 | 1 | [基本事業]2つ目の・の生活習慣病の発症・重症化予防の部分には、具体的にCKDネットワークや糖尿病重症化予防等の具体的な取組も入れてはどうか。 | ご意見のとおり、2つ目の・に加えます。CKD(慢性腎臓病)予防ネットワークについては、注釈も付けます。 |
| 2-(3)-③ | 37 | 3 | 1 | 1 | [みんなができること]医療に対する市民の心掛けをいれたほうがよいのでは。例えば「かかりつけ医をつくる」「時間外受診や重複受診をやめる」など。 | ご意見のとおり、以下のことを追記します。 ・かかりつけ医等を決め、生涯にわたって自分の健康管理を行いましょう。 ・時間外受診や重複受診は控えましょう。 |
| | 38 | 3 | 1 | 1 | [みんなができること]50人以下の事業所は産業医不在のところもあり、メンタル的フォローも含め健康管理は非常に重要なので、その辺を入れてほしい。 | ご意見のとおり、「職場の産業医や地域産業保健センターを活用しましょう。」を追記し、注釈も付けます。 |
| 2-(3)-④ | 39 | 3 | 1 | 2 | [基本事業]医療センター以外に、救急車を受け入れる病院を増やせないのか。 | 民間のことについては触れられないため、ご意見として受け止めます。また、佐藤委員の説明にご理解いただいたものと考えます。 |
| 2-(3)-⑤ | 40 | 市民意識調査 | | | [KPI]前期基本計画の総括では「妊娠・出産について満足している市民の割合」や「乳幼児健診受診率」など達成率が100%を超えるほか、子育てについて新たな取組を行っているのにも関わらず、市民意識調査では6割以上の方が子育てに関して不安感や負担感などを感じている。この結果をどのように捉えているか。 | 結果については、重く受け止めています。調査では、経済的負担の軽減を求める声が聞かれ、負担感等を軽減するためには、今後、どれだけ支援策の充実を図れるかが鍵になるため、ニーズ等も踏まえ、対応を検討していきます。 |
| 2-(3)-⑥ | 41 | 3 | 3 | 3 | [基本事業]認知症対策が非常に重要。認知症の初期集中支援チームの活動や認知症サポーター、認知症サポート医などを入れてほしい。 | 基本事業③に、「認知症を正しく理解するために認知症サポーター養成研修を行うとともに、」を追記します。 |
| | 42 | 3 | 3 | 3 | [KPI]みまもりあいアプリの登録数をKPIに入れては。作ったら終わりではなく「生かす」ところが大事。ダウンロード数はアプリストアで見られるはず。 | ご意見を踏まえ、アプリ運営会社と協議して、KPIに「みまもりあいアプリ」の登録者数を設定することとします。 |
| 2-(3)-⑦ | 43 | 3 | 4 | 2 | [基本事業]障がい者が多くなるので、子供への支援、特に社会参加、自立の促進を力を入れてほしい。 | 発達障害等はニーズが増えています。関連個別計画を来年度見直すので、検討したい。 自立についても、国も力を入れているので市でも就労支援など重点的に取り組んでいきたい。 |
| 2-(4)-① | 44 | 4 | 1 | 1 | [基本事業]メディア活用の取組みを進める同時に、メディアリテラシー、正しい使い方の教育が大事なので、入れられないか。 | 2つ目の・にメディアリテラシー(情報活用能力)教育の取組みを加えます。 |
| 2-(4)-② | 45 | 4 | 1 | 2 | [基本事業]県外出身で高専卒のある若手社員が両親を会社案内した話を聞き、感動した。中央高校生も意欲や態度など評判が良い。学力以外にも人間力も育てることは大切である。 | ご意見としていただきます。 |

総合計画審議会 質疑対応表（答申案用）

資料4

| 答申への反映 | 整理番号 | 施策体系 | | | (A)審議会の質問・意見 | (B)市の回答・対応 |
|----------|------|----------|----|------|--|---|
| | | 該当箇所又は政策 | 施策 | 基本事業 | | |
| 2-(4)-③ | 46 | 4 | 1 | 3 | 特認校の児童が少しでも大勢で体験や授業ができるよう、複数校での取組を増やしてほしい。PTAの活動回数も大規模校と同じで、子どもも親も負担が大きいと感じることが多い。 | ここでは明記していませんが、学校合同での取組を広げられないか検討していきたい。 PTAについても同様の意見が多いので、検討を進めているところです。 |
| 2-(4)-③④ | 47 | 4 | 1 | 1 | [基本事業] 勉強したことを地域貢献としてアウトプットする場が必要である。学生が地域で活躍する場や企業の体制を整え、市全体で子どもたちの教育を応援する環境づくりというような文言があると良いのでは。 | 【みんなができること】の【地域】に「子どもたちが学びを生かして地域貢献できる機会をつくり、その取組をみんなで応援しましょう。」 と加えます。 |
| 2-(4)-④ | 48 | 4 | 2 | 2 | [基本事業] 高齢者と子供の触れ合いの機会が増えるような取組を。花壇づくりなどでもよい。高齢者にも認知症予防になる。 | 「地域学校協働活動」がまさに高齢者と子どものふれあいの場となる活動であるので、注釈に「地域学校協働活動」を入りたい。 |
| 2-(4)-⑤ | 49 | 4 | 2 | 3 | [課題・基本事業] 課題に「SDGsやライフステージに対応した魅力ある講座の開設」が挙げられているが、それに対応する「基本事業」が打ち出せていないと思う（「市民の必要としている学習情報の提供に努めます」といった曖昧な表現に止まっている）。例えば「霧島アカデミー」はSDGsを視野に含む実践的なよい講座で、これに対応する事業と思っていたが、今年度から廃止となったのは、こうした“曖昧性”の反映のように感じる。 課題に「市民の学習ニーズ、地域課題解決のための魅力ある講座の開設が求められている」とし、「SDGsやライフステージに対応した魅力ある講座の開設」は、それに対応した「基本事業」の中に位置付けた方が社会教育の方向が明確になると思う。 | ご指摘のとおりSDGやライフステージなど講座へのニーズは変化し多様化しています。基本事業の書き方も、それらを含む形で「利用促進や、」の後に「幅広い年代層や学習ニーズに対応した講座の充実」に努めます。」に修正します。 |
| 2-(4)-⑥ | 50 | 4 | 2 | 4 | [基本事業] 近年、近代遺産の価値が見直されている。ここに記載を求めるわけではないが、それらも文化財として保護を検討いただきたい。 | 今後、情報をお寄せいただきたい。 |
| 2-(4)-⑦ | 51 | 4 | 3 | | [KPI] 他の指標と比べて、下3つの目標値がとても高い。理由は何か。 | コロナ禍により体育施設の利用機会がほとんどなくなったため、目標値については、それぞれ前期計画の成果指標の現状値を回復し、さらに超えるように目標設定したところです。 |
| 2-(5)-① | 52 | 5 | 1 | 1 | [コラム] 静岡県で昔、薩摩藩による河川の普請があったと聞いた。FDA直行便を介して市内企業が同県と交流を進めている。海津市との交流同様、そのような点も入れたらどうか。 | 静岡との連携の件は把握していましたが、河川の普請については不勉強でしたので、今後研究していきたい。 |
| 2-(5)-② | 53 | 5 | 1 | 2 | [基本事業] 地域協力隊と遊休不動産活用を伊佐市のようにもって活用することが大事。空き家バンクのサイト運営や竹子地区のように協力隊員が地域の中に入っていく仕組みをつくったらどうか。 | 地域おこし協力隊の採用については、受入れ体制や効果等について庁内や総合支所と情報共有を図っており、貴重なご意見とさせていただきます。 |
| 2-(5)-③ | 54 | 5 | 1 | 2 | [KPI] 移住者数について、年代別・世帯構成別の数は把握しているか。ターゲット次第でプロモーションの方法も変わる。 | 掘り起こせばデータはあるので、そのような視点でも検証を図っていきたい。移住相談の集計データは、相談者の年齢、家族構成を入力、集計できるように改善しました。 |
| 2-(5)-④ | 55 | 5 | 2 | 2 | [基本事業] 「経営への参画」という点では、子育て世代の女性は育児、家事、学校行事など負担感が大きく、意欲があっても起業に一步踏み出せない、女性ということで地域の協力を得られないという声がある。 | ご意見として、参考にさせていただきます。 |

総合計画審議会 質疑対応表（答申案用）

資料4

| 答申への反映 | 整理番号 | 施策体系 | | | (A)審議会の質問・意見 | (B)市の回答・対応 |
|---------|------|----------|--------|--------|---|---|
| | | 該当箇所又は政策 | 施策 | 基本事業 | | |
| 2-(5)-⑤ | 56 | 5 | 2 | 3 | [基本事業]外国人と話す機会が少ないので「交流の場の提供」は大切であるが、「市民や企業等が在留外国人を理解するための交流」だけでなく、外国人自身が地域に馴染めるように、日本語学習も含めた在留外国人の学習機会の提供も必要であるので、基本事業に入れるべきでは。 | 「日本語学習を含めた在留外国人の学習の機会の提供」はこれまでも行っており、冒頭の「外国人への支援」に含まれています。 |
| 2-(5)-⑥ | 57 | 5 | 3 | | [KPI]4つしかないのが気になった。KPI「住みやすい」「住み続けたい」は漠然としており、現状値も高いので、キシマイスター等の認知度などに変えてはどうか。 | ご指摘の2つのKPIは、全政策の成果が反映されるものであるため、そのまま据え置くこととしたい。 キシマイスターについてはこれまで認知度に関する調査を実施していないため、現状値が不明です。新たなKPIとして市公式インスタグラム（#キシマイスター、#キシマイチャンネル）の投稿数も検討しましたが、市民の投稿数のみを集計することは困難と判断しました。 |
| 2-(6)-① | 58 | 6 | 1 | 2 | [基本事業]市職員は市のさらなる発展のために、様々な案を出して頑張っている。経費が必要であれば検討する。給料等を上げてよいのではないか。 | 職員の資質向上に努めるとともに、将来を担う優秀な職員の採用に向けた取組を検討してまいります。 |
| | 59 | 6 | 1 2 | 2 3 | 市民が納得いくような、適正な課税をしてほしい(固定資産税等)。また、市民への説明を丁寧にし、(市民の)信頼を得られるような対応をお願いしたい。 | 関係課にご意見としてつないでおきます。 |
| 2-(6)-② | 60 | 市民意識調査 | | | [KPI]5割以上の方が行政サービスに対して信頼できると回答しているのに対して、市民の意見が市政に反映されていると思わないと回答したのは3割である。この結果をどのように捉えているか。 | 多様化・複雑化する市民ニーズを把握し、市民の意見や実態が、より一層市政に反映するよう取り組むとともに、より丁寧に説明や情報発信を行うことで、割合の向上に努めたい。 |
| | 61 | 6 | 1 | 3 | [現状・課題]に「積極的な情報発信と市民ニーズの把握」とあるが、「ニーズ把握」だけでなく、意見を取り入れていくことまで含む必要がある。戦略として、単に「情報活用」にとどまらず、意見を取り入れる仕組みが求められると思うが、それはどの施策で扱われるか。 | この施策の基本事業3で取り扱います。市に寄せられたご意見等については、関係部署と情報を共有し、内容を検討の上、各施策への反映に努めています。 |
| 2-(6)-③ | 62 | ワークショップ | | | [KPI]ワークショップで、SNSを活用した情報発信という意見が出ていた。SNSは若年層に訴求できることが一番の醍醐味であるが、うまく活用できておらず、「自分の意見が反映されていない」「行政が何をやっているのか分からない」と感じてしまう。SNSユーザーの志向性を追及していけば、より良いまちになるのではないか。 | ご意見として、参考にさせていただきます。 |
| | 63 | 6 | 1 | 3 | [KPI]SNS動画等のツール活用の実態が見えない。「登録者数やいいね数」をKPIに設定すれば、取組の進捗が顕著に数字に現れるので、ぜひ検討をお願いしたい。 | 市ではホームページでの情報発信をSNS(ツイッターやフェイスブック)と自動連携していることから、ホームページの充実によるアクセス件数の増加が「積極的な情報発信・情報公開」に資すると考え、KPIに設定しています。 |
| 3-① | 64 | 総合戦略 | | | 基本目標2(3)「住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成」には、安心・安全と同時に、市民の自治意識の向上が強く求められる。そのためには、市民が地域のことを学んだり活動を企画・実践したりする、地域に楽しく関わっていくための仕掛けが必要と考える。KPIの「自治会加入率」の向上はそのような仕掛けの結果、生まれるものではないか。 ＜プロジェクトの方向性＞市民活動の支援と協働の推進に異論はないが、KPIとして市民活動の実施状況を可視化できるものが設定できないか。公民館の利用状況とか、NPOの創設数とか、市民活動事業参加団体数などは数値化できるのではないか。 | ご意見のとおりであると考えますので、第2期でKPIとしていた「まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数」をKPIに加えます。 |

総合計画審議会 質疑対応表（答申案用）

資料4

| 答申への反映 | 整理番号 | 施策体系 | | | (A)審議会の質問・意見 | (B)市の回答・対応 |
|--------|------|----------|----|------|---|--|
| | | 該当箇所又は政策 | 施策 | 基本事業 | | |
| 3-② | 65 | 総合戦略 | | | 基本目標2(6)「環境と調和したまちづくりの推進」のKPIのリサイクル率、ゴミ排出量、温室効果ガス排出量の目標値などの根拠は何か。SDGsの目指すものを鑑みると、目標が低すぎないか。 | リサイクル率及びゴミの排出量については、自然推移に対し、生ごみの水分量を70%から65%に減らすことを目標にして数字を導き出しました。過去5年間でほとんど値が横ばいの中にあつては高い目標値であると思います。温室効果ガス排出量については、国の地球温暖化対策で掲げられている数値(2050年カーボンニュートラルを目指した数値)と整合を図った数値となっています。 |
| 3-③ | 66 | 総合戦略 | | | 高齢者が触れ合うことができる公園などを確保してほしいとの声をよく聞くので、KPIの公園施設の更新については頑張してほしい。 | 高齢者の健康づくりにもなるので、都市公園の計画担当課につないでおきます。 |
| | 67 | 総合戦略 | | | 姫城の高台の公園(元、山月荘)は、不便で利用者がいない。埋め立て用の土として他所で利用し、平らにして避難所も兼ねた公園にするなど有効活用してはどうか。 | 関係課につないでおきます。 |
| 3-④ | 68 | 総合戦略 | | | マイナンバー、オンライン申請など守りの取組だけでなく、ICT、IoT、遠隔での取組など前衛的に推進し、取り組んでいる部分があれば内外にPRしてほしい。 | DX推進計画の前半部分を策定したところであり、今後、専門家の意見も聞きながら、社会のデジタル化の部分についても検討したい。 |
| 3-⑤ | 69 | 総合戦略 | | | 高校卒業時の市内就職率が40%だが、もう少し頑張してほしい。 | 市内企業の今後の状況や対象者となる学生は年度毎に入れ替わることで、個々に継続した取組が出来ないことなどを考慮すると、40%の目標は決して低い数値ではないと考えています。 |